

日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院

病院長名 佐藤 公治

所在地 〒466-8650
愛知県名古屋市昭和区妙見町2番地の9

交通案内 地下鉄:名城線八事日赤駅下車 2番出口すぐ
バス:市バス妙見町行 八事日赤病院停下車

★ 病院の特徴

当院は、歴代院長が首尾一貫した方針で病院の進むべき方向性を定め、歴史と伝統である救急医療、高度医療、災害救護と国際救援、周産期医療、医療連携、研修医教育などを推進することによって現在の病院にまで発展してきました。

特に「研修医は病院発展の原動力」との考えのもと、研修医教育には最重点を置き研修医教育指導体制の充実を図ってきました。そして、さらなる充実した研修医教育を実現するため、教育研修推進室を設置しています。



★ 研修の特徴

初期研修では、1)基本的臨床能力の獲得と患者視点の尊重による安全で安心できる医療の提供、2)適切な指導体制の下で「プライマリケア」を重視し、医師としての必要な診療能力を身に付け、医療安全に配慮し人格を涵養する、3)質の高い専門研修に繋がり、医療を支える基礎を構築することが重要です。そのためプライマリケアと高度な専門性の両面において優秀な指導医が重要です。

当院では、100名を超す指導医講習会修了者がおり、初期研修医の皆さんとの「On the Job Training」を楽しみにしています。当院は、中京地区No1のマグネットホスピタルです。病院設備面の充実、診療実績の充実度と診療能力の高さ、全国屈指の優れた医師団、優秀なコメディカルスタッフ、環境の良さ、こうした魅力が集まることで強力なマグネットホスピタルとなります。30年以上にわたる臨床研修のノウハウが集積され、当院から巣立った優秀な研修医が臨床に研究に広く活躍しています。



メッセージ

指導医 (教育研修推進室長 山田 崇春)

これまでにたくさんの臨床研修医の方が、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院から医師としての第一歩をスタートしています。医学生の方々は、「どのような病院で臨床研修を受けようか」、「卒業したらどの分野を専門にしようか」と、卒業後のことを考えることも多いでしょう。しかし、どの分野に進むにせよ、まずは臨床研修医としてトレーニングを受けることになります。初期臨床研修は、医師としての基本を身につける「自己研鑽」の期間であり、同時に初めての「仕事」の機会でもあります。この2年間で、何を学び、何を経験し、何を修得したかは、その後に続く医療者としての働き方の根幹をなします。当院は、臨床研修病院として積み重ねてきた歴史と、医療現場で活躍できる医師を輩出してきたノウハウを持っており、たくさんの医学生の方々に「選ばれる病院」になっていると思います。

医学生の方々は、高い志を持った20名以上の研修仲間がいる環境で、熱意ある当院のスタッフとともに働きませんか？ 私たちの病院は、「思いやりのこころを大切に」をモットーに、患者さんにも働く医療者にも優しい病院を目指しています。明日の医療を担う皆さんが、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院において初期臨床研修を受けられ、よりよい医師への第一歩を踏み出すことができるように職員みんなでサポート致します。

研修医 (1年次研修医 山田 健太)

私が当院を志望した理由は、研修医の救急外来での働き方に魅了されたからです。数多くの救急外来患者を診療できること、自らアセスメントを立てて検査を行い、その後の方針を決められることなど、頭脳だけの学習にとどまらず、体に覚えさせるように学んで成長していける環境が当院にはあります。後日、当院の各診療科の外来に再診となる場合が多いため、救急科以外の各専門医の先生からフィードバックが得られることも大変魅力的なところ。加えて、20名を超える同期がおり、みんなで経験・症例の共有をし、エコー検査や各種手技の練習を行うなど切磋琢磨できる環境がそろっています。内科、外科、小児科、産婦人科や移植外科と幅広い診療科に強みをもつため3年目以降も残って働ける当院で皆さんも初期研修をしませんか。



百聞は一見にしかず、是非一度見学しに来てください。研修医一同、心からお待ちしております。

募集要項

採用実績	2022年度 22人 ・ 2023年度 22人
給与/月額	1年次 263,300円 2年次 278,300円 (※手当含まず)
当直回数/月	5回
当直料/回	支給あり
その他	研修医寮あり
応募連絡先	担当者 教育研修管理課 石野 あや音
	電話番号 052-832-1121
	Eメール education@nagoya2.jrc.or.jp